

令和3年7月20日

## 令和3年度 第1学期終業式 式辞

おはようございます。今年は例年よりやや早く、昨年より2週間ほど早く梅雨明けしました。猛暑が続く中、1学期も終わりを迎えようとしています。

さて、式辞に先立って表彰生徒を皆さんにご紹介します。今年は、昨年ほどではないにせよ、部活動の大会や発表会および各種検定試験等も無観客や規模が縮小となり、例年なら多くの生徒を表彰するところですが、そのような中、これから紹介する生徒がそれぞれ優秀な成績を収めました。

まず、千葉県高等学校工業教育研究会主催の令和3年度関東電気工事コンテスト千葉県予選です。本校から2人の生徒が出場し、電気科3年の木村真雪斗（まなと）さんが第1位、同じく電気科3年の永井翼（つばさ）さんが第3位に入賞しました。なお1位の木村さんは8月28日に栃木県で開催される関東大会の出場権を獲得しました。全国大会目指し、関東大会での活躍を期待します。

また関東電気保安協会主催の「2021年度高校生作文コンクール」では1年工業1組の木村果愛（かより）さんが最優秀賞に輝きました。

このコンクールは関東地方の電気科を中心とする工業系学科に在学している生徒を対象に「電気技術者としての夢や抱負」をテーマに34校1371作品が参加した中で、木村さんはたった1名が選ばれる最優秀賞に輝きました。昨日電気保安協会の方がお見えになり応接室で表彰していただきました。本当におめでとうございます。

さらに運動部の活躍も見事なものがありました。

柔道部では第11地区大会において3つの階級で優秀な成績を収めました。

まず1年工業2組の藤川和史（かずふみ）さんが準優勝、同じ階級3位に1年工業2組の石原夢咲志（むさし）さんが、また別の階級では機械科2年鎌上拓海（たくみ）さんが準優勝、さらに別の階級では食品科学科1年の小口次郎（こぐちじろう）さんが優勝しました。予選を勝ち上がり県大会に出場した柔道部やバスケットボール部をはじめ他の部活動についてもコロナ禍にあって本当によく頑張りました。各種検定試験でも多くの合格者が出て大変充実した1学期だったと思います。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年の1学期も放送での終業式となりました。今学期は、昨年度に引き続き様々な制約があった中、で

きる限りの対策を取りながら、皆さんは学業に部活動に資格取得などに努力しました。よく頑張りました。特に印象に残っているのは、生徒会を中心に球技祭をリモート応援という形をとりながら無事見事に成功させたことです。これは今後に大いにつながっていくものと思います。関係者のすべての皆さんに感謝いたします。

さて、4月からの3か月余り、学校生活に全力で取り組めたでしょうか。次の2点を振り返ってください。

1点目。通知表を見ながら、学習への取り組みと生活習慣について振り返ってください。成績、欠席、遅刻、数字に表れていることは、振り返りがしやすいと思います。次の4つのパターンがあります。

- 1 努力をして結果に結びついた人は、その喜びを糧に、次の目標を定めてこれからも努力を続けましょう。
- 2 努力はしているものの、まだ結果に結びついていない人は、あきらめたり、投げ出したりせず、コツコツ地道に努力を続けましょう。それが最も確実な道です。
- 3 それほど努力はしなかったけれど、まずまずの結果だという人は、要注意です。努力をして力を蓄えていきましょう。そうしなければ、あっという間に今の力は底を尽いてしまいます。
- 4 全く努力をしなかったから、当然の結果だと思ふ人は、自分自身に聞いてみましょう、本当にこのままでよいのかと。今を大切にしてください。

2点目は4月の始業式で私がお願いしたことについてです。

それは人に対する気配りが、あたりまえにできるようになってほしいということです。そして「人が嫌がることは絶対にしない」ということです。清水高校は、いじめなど、他人を傷つけるようなことを絶対に許さない強い姿勢で臨んでいます。最近のオリンピックの開会式にまつわるミュージシャンの過去の発言や行動が報道でも話題となっていますが、このようなことは絶対あってはなりません。絶対にしないでください。

最後になりますが、依然として感染は収束しておりません。皆さん一人一人が、感染防止など健康管理等大変ではありますが、自分のため、他の人のため、夏季休業中も行ってください。本日成績表がこの後渡されます。1年生は高校になり初めての成績表と思います。赤点（欠点）がある生徒もいると思います。このまま克服できないと進級・卒業ができなくなります。高校は義務教育ではありません。夏季休業中

も家庭で宿題や課題等に取り組み、それぞれが一生懸命取り組んでくれることを期待します。それこそが皆さんの進路実現に近づく近道です。「いつもと変わらない一日は、特別な一日」という言葉があります。毎日毎日日常過ごしている1日がもう2度とない1日です。このことを考え、夏休みといえども1日1日を大切に、今できることを頑張りましょう。それではまた元気に9月会いましょう。